

新たな時代における鉄道の発展と、

JR産業の持続的成長に向けて、

JR連合結成30周年記念シンポジウムを開催



J R 連合荻山会長

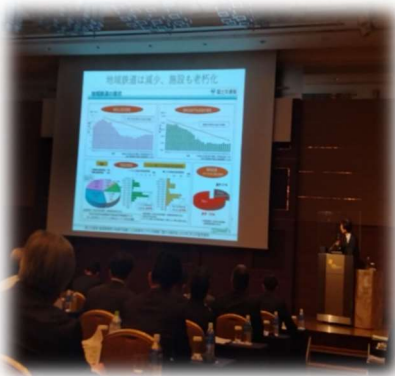


J R 連合国会議員懇談会会長 榎葉賀津也議員

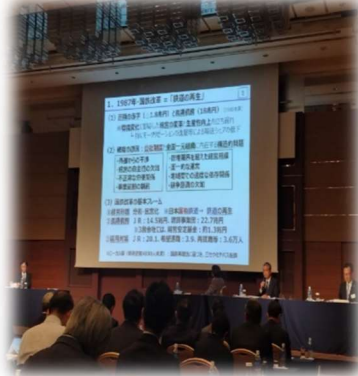
10月6日、都内においてJR連合結成30周年記念シンポジウム・JR連合結成30周年記念式典が開催され、貨物鉄産労から3名、南関東ロジ労組から1名が参加しました。

荻山会長の挨拶では、「JR発足から35年6ヶ月が経過し、あと2年4ヶ月で国鉄時代と同じ期間に達する。コロナ禍により社会変化は加速し、JR労使は国鉄改革に並ぶ大転換期を迎えている。今後30年を展望すれば、JR産業が安全を基礎に持続的に成長し、組合員が安心して意欲高く働き続けられる環境を築くためには、労使を上げて社会の変化に対応し、不断の変革を進めていかなければならない」と、力強く述べられました。

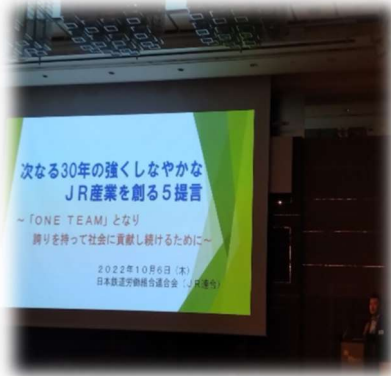
シンポジウム終了後は記念式典を開催し、連合芳野会長をはじめ、省庁・JR連合国会議員懇談会・JR各社代表者・友誼団体・JR連合歴代会長等、多くのご来賓があり、盛大に執り行われました。



基調講演



パネルディスカッション



J R 連合からの「提言」提起